施策評価シート(令和7年度実施施策)

総合計画体系	政策No.	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり	施策主管課	健康ふくし課
	施策No.	3-4	施策名	障がい者福祉の充実	施策主管課長名	渡部　朋宏
関係課	健康ふくし課					

1．施策の目的

対象	意図
A 町民・地域・事業所 B 障がい者	A 障がい者への理解が浸透し共生している B 積極的に社会参加しつつ自立した生活を過ごしている

2．成果指標　　**上段：目標値　下段：実績値**

	指標名	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 障害者総合支援法によるサービス利用者の障害者手帳所持者に占める割合（増加）（現状値：H30時点）	%	11.7	12.6	12.7	12.9	13.1	13.3
				13.2	13.2	15.4	14.8	15.8
②	B 地域生活支援事業利用者の障害者手帳所持者に占める割合（増加）（現状値：H30時点）	%	10.2	10.8	11	11.3	11.5	11.8
				8.7	11.7	14.8	17.9	25.5
③								
④								

3．指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	計画期間における実績値は、おおむね高水準で推移し、全ての年度で目標値を上回った。令和７年度は障がい者手帳の新規取得者に対して、サービスの案内や会津西部基幹相談支援センターからの情報発信等に努めたことにより、サービスの利用拡大につながり、前年度比で1.0ポイント増加し、目標値を2.5ポイント上回った。
②	計画期間における実績値は、令和３年度8.7%から令和７年度は25.5%まで大きく上昇し、令和４年度以降は全ての年度で目標値を上回った。令和７年度は障がい者手帳の新規取得者に対して、窓口相談時の丁寧な説明や「障がい福祉のてびき」の配布等により制度の周知が進み、サービス利用者（特に訪問入浴サービス事業や日常生活用具給付事業）の増加に繋がった。加えて、保健師との連携により、障がい児のサービス利用に繋がるケースが増加したことも要因と考えられる。その結果、前年度比7.6ポイント増加し、目標値を13.7ポイント上回った。
③	
④	

4．課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・会津西部基幹相談支援センターによる事例検討会や研修会を開催し、分野を超えた関係機関との連携を進めるとともに、地域の相談、支援従事者の人材育成を推進し、支援体制の強化を図った。
・自立支援協議会を開催し、第４期障がい者基本計画の実施状況の確認や、専門部会である「こども支援部会」「地域生活・就労支援部会」を各３回開催し、関係機関との情報共有、連携を図った。

5．次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

この施策は、第４次総合計画においては、支え合いと多様性の尊重(施策２-４)に引き継がれる。
会津西部基幹相談支援センターを中心に関係機関との情報共有等、連携を推進するとともに、引き続き相談支援体制の強化とサービス提供体制の充実を図っていく。

６．施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和7年度決算額(千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4123	重度障がい者支援事業	49,655	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	4125	自立支援給付事業	492,336	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
3	4127	地域生活支援事業	13,799	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
4	4128	自立支援医療給付事業	13,937	現状維持	現状維持	⑤現状維持	